

Performance evaluation of a novel fully automated real-time reverse transcriptase-polymerase chain reaction kit for the detection of norovirus

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2016-03-20 キーワード: 作成者: 細田, 智弘 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001800">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001800</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1657 号

Performance evaluation of a novel fully automated real-time reverse transcriptase-polymerase chain reaction kit for the detection of norovirus

(全自動リアルタイム RT-PCR 法を用いた新しいノロウイルス検出キットの性能評価)

細田 智弘 (ほそだ ともひろ)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、ノロウイルス感染症の新たな診断法の確立を目的とした研究を記している。ノロウイルス腸炎は世界中で広く流行し、特に冬季に診療の機会が多い疾患であり、その感染力から院内感染対策上も重要な疾患である。感染の有無を判定して適切な感染対策を行うために、高感度で迅速性に優れ、なおかつ検体採取や検体処理が簡便な検査法の確立が望まれている。

本論文は、全自動リアルタイム RT-PCR 法を用いたノロウイルス検出キット (以下 EV-kit) の性能評価を行なった初めての研究を記した論文である。本研究では、EV-kit が、本邦でノロウイルス感染症に対して日常的に行われているイムノクロマト法よりも感度が高く、また診断のゴールドスタンダードとして使用されることが多い RT-PCR 法よりも迅速性・簡便性に優れた検査法であることが示された。さらに、EV-kit のノロウイルス検出感度が、直腸スワブで採取した検体であっても全便検体で検査した場合と同様に十分高いことが示されている。このことは、例えば病院内の集団発生などの状況で、スクリーニングのための検体採取を、直腸スワブを用いて短時間で一斉に検体採取を行うことも可能であるということを示している。

以上から本論文は、EV-kit の新規性のみでなく、今後のノロウイルス感染症の診療に大きな影響を与える可能性について言及した重要な論文であると考えられる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。